

- 中国ブロック発注者協議会は、国、地方公共団体、特殊法人等で全126機関が参加
- 平成27年度からの5ヶ年で、全43回開催。
- 取り組みにより、全国統一指標、中国ブロック独自指標ともに、改善傾向。

■設立

平成20年10月9日

■組織

委員会

<構成員>

(国) 中国地方整備局長、関係省庁出先機関部長等
(県・政令市・代表市) 農林水産部長、土木部長等
(特殊法人等) 所長、部長等

幹事会

1～2回/年 開催

<構成員>

(国) 中国地整企画部長、関係省庁出先機関課長等
(県・政令市・代表市) 農林水産課長、技術管理担当課長等
(特殊法人等) 課長等

連携

各県協議会

1～2回/年 開催

<構成員>

(国) 各県事務所長、関係省庁出先機関次長等
(県・政令市) 農林水産課長、技術管理担当課長等
(市町村) 課長等

■開催実績(平成27年度～令和元年度)

- ◇中国ブロック発注者協議会幹事会 8回
- ◇各県発注者協議会 35回
(鳥取・島根・岡山・広島・山口)

■主な取り組み

- 重点的に取り組む目標と指標の設定、及び達成度の確認、公表
- 災害対応に関する事務連絡や災害復旧ガイドライン等の周知
- 発注見通しの統合
- 働き方改革、生産性向上に向けた取組
- その他発注者間の情報共有

令和元年6月
中国ブロック発注者協議会幹事会



令和元年7月
島根地域発注者協議会



- 中国ブロック独自の指標として、10項目をH27～H29までの3ヶ年で実施し、6指標で概ね達成。
- H30～R2は、取り組み率が低い4項目と全国統一の3項目の全7項目を指標として取り組み中。

【中国ブロック独自の指標（H27～H29 3ヶ年）】

- ①最新の積算基準、労務・材料単価を適用する
★達成 (機関毎の最新単価)
 97% (H26) → **98% (H29)**
- ②適切な設計変更（必要に応じた設計変更）
★達成 100% (H26)
- ③歩切りを行わない
★達成 82% (H26) → **100% (H29)**
- ④適切な工期を設定する
★達成 83% (H26) → **99% (H29)**
- ⑤低入札価格調査制度または最低限価格制度の設定・適切な活用を徹底する
★達成 88% (H26) → **95% (H29)**
- ⑥社会保険等未加入業者の排除
★達成 54% (H26) → **98% (H30)**
- ⑦元請に社会保険等未加入業者と契約禁止措置
 9% (H26) → **87% (H30)**
- ⑧原則一般競争とする
 63% (H26) → **78% (H30)**
- ⑨予定価格は原則として事後公表とする
 53% (H26) → **71% (H30)**
- ⑩総合評価落札方式の適切な活用を図る
 52% (H26) → **59% (H29)**

全国指標
(より厳しい基準)
として継続

全国指標
(より厳しい基準)
として継続

H30～R2指標
(7項目)
全国統一3項目
中国独自4項目

【全国統一指標】

- ①適正な予定価格の設定
 - 最新の積算基準と基準対象外の要領を整備
48% (H30)
 - 最新単価を用いて積算を実施（1ヶ月以内の単価）
75% (H30)
- ②適切な設計変更
 - 設計変更ガイドラインを策定、活用
28% (H30)
 - 必要に応じて設計変更を実施
★達成 99% (H30)
- ③施工時期の平準化
 - 件数ベースの平準化率
63% (H28) → **71% (H29)**

H30は災害の影響があるため、
H28→H29の比較

■ 発注見通しの統合公表

★達成 26% (H30) → **全機関統合 100% (R1)**